



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

児童虐待を未然に防ぎ、早期発見・対応するには、子どもやその家庭を地域全体で見守り、支えていくことが大切です。「通告」は子育てに悩みを抱える保護者への支援のきっかけになります。子どもや家庭の様子で心配な情報がありましたら、迷わず連絡してください。



子育ての悩みに寄り添い、一緒に解決策を考えます。

子育て支援課
子ども相談室
申間由唯

近所で「子どもの泣き叫ぶ声」が聞こえてきた という通告があった場合の 子育て支援課での対応の流れをご紹介します

1 通告



● 通告者から情報を聞き取ります

いつ、どこで、程度や頻度はどうか、物音や大人の声が聞こえるかなどを聞き取り、状況を把握します。

2 調査・訪問



● 家庭の状況を慎重に調査します

関係機関などから情報を収集します。必要に応じて自宅を訪問し、泣き声の理由や育児で困っていることなどをお聞きします。

3 対応・支援



● その人に合った支援につなぎます

子育てに悩む保護者と一緒に考え、状況に応じたサービスを提案します。保健師や保育士などの専門職が訪問することもできます。

子育てに関するいろいろな相談をお受けします!

子育て支援課 子ども相談室
☎ 21-1766
(平日8:30~17:15)

※通告・相談は匿名で行うこともできます。
※通告・相談をした人やその内容に関する秘密は守られます。

児童相談所全国共通ダイヤル

いち早く 24時間対応
☎ 189 通話料無料

※最寄りの児童相談所につながります。
※夜間・休日も受け付けます。

問 子育て支援課 TEL21-1766 FAX27-0752

塩見 心愛 さん
バレエダンサーの卵

キラリ!

明日を見据える
注目の人財を
ピックアップ

バレエを究めるために
单身スイスへ
自分の可能性に挑戦する16歳



晴れて合格しました。母親は大反対でしたが苦渋の上、「今しかできないことをさせてあげよう」と送り出すことを決心。塩見さんは出発までに通信制高校の単位をすべて取得し旅立ちました。スイスでは自炊をしながらレッスンに励んでいます。「レッスンは厳しくて大変ですがバレエをしてる時間はすごく楽しいです」。自分の可能性に全身全霊で挑んでいます。

出発前の最後のステージ「倫バレエスタジオコンサート」に臨んだ塩見さん。

8月の終わりの日、自分の可能性を切り拓くため16歳の塩見心愛さんは单身でスイスへ渡りました。それはバレエ道を究めるため。親を説得し、夢への挑戦を始めました。3歳の時にジャズダンスを習い始め、踊ることが楽しくてたまらなかった塩見さん。小学3年生の時に見た宝塚歌劇団の舞台上に魅了され、バレエも習い始めました。「バレエは形が決まっています、基礎の部分がすごく難しいですが、練習すればするほど魅力にはまっていきました」。塩見さんは「生活の100%をバレエに注ぎたい」と高校を1年生の時に退学。親の勧めで、通信制高校で学びを続けながらバレエの道を究めることにしました。さらに海外で学びたいとスイスの「チューリッヒオペラ座付属バレエ学校」のオーディションを受験。



留学前は倫バレエスタジオの渡邊倫先生のもとで練習に励みました。

PROFILE

宮崎市出身。3歳からスタジオ・アオイでジャズダンスを習い始める。小学3年生からはバレエも習い始め、13歳からはバレエに専念。今年からスイスのチューリッヒオペラ座付属バレエ学校に留学中。